

南部地域 [雑司が谷、高田、目白、南池袋(一部)、西池袋(一部)]

南部地域は、人口約4万9千人、約3万世帯が暮らす地域です。学習院大学や雑司ヶ谷霊園など、大規模な緑地をはじめ、みどり豊かな地域でもあり、緑被率も20.5%と5つの地域の中でも最も高くなっています。

雑司が谷は、池袋に隣接する地域ながら、重要文化財・雑司ヶ谷鬼子母神堂、法明寺などの寺社、古い家並み、文化人が眠る雑司ヶ谷霊園、手塚治虫が創作活動を行った並木ハウス、雑司が谷旧宣教師館、東京音楽大学など、歴史と文化を感じさせる魅力に溢れ、静かでどこか懐かしい雰囲気漂うまちです。こうした特色を活かしたまちづくりのため、平成22年7月には「雑司が谷案内処」を開設し、雑司が谷地域の情報を発信しています。

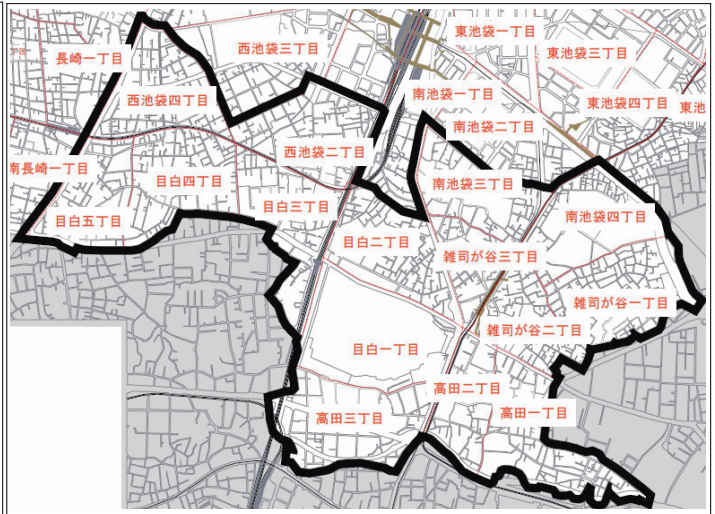
平成26年12月、雑司が谷地域の歴史と文化のまちづくりの活動「雑司が谷がやプロジェクト」が、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が推進する「プロジェクト未来遺産2014」に登録されました。

また、平成27年4月、雑司が谷1・2丁目、南池袋4丁目地区において、不燃化特区の新規指定を受けました。そのような中、雑司が谷地区の中でも特に危険度の高い雑司が谷二丁目の中央に位置する高田小学校跡地が公園として整備され、令和2年3月に開園しました。

目白は、目白通りを中心に、学習院大学や川村学園女子大学、日本女子大学などが立地する学生のまちであるとともに、個性的なギャラリーや切手の博物館、歴史を感じさせる教会や洋館など山手文化が息づく街です。さらに、西武池袋線を挟み、フランク・ロイド・ライトが設計した重要文化財・自由学園明日館、鈴木三重吉により創刊された童話雑誌「赤い鳥」に因んで命名された数寄屋造りの茶室「赤鳥庵」を配した回遊式庭園「目白庭園」など、大正デモクラシーの息吹を伝える文化資源にも恵まれています。また、目白通りから一步入ると、東京のなかでもブランド力の高い閑静な住宅地が形成され、落ち着いた佇まいを見せています。

目白から高田にかけては、神田川に向けて急傾斜地となっています。坂を下った神田川沿いは桜の名所でもあり、目白の地名の由来である目白不動尊を祀る金乗院などの寺社が点在しています。

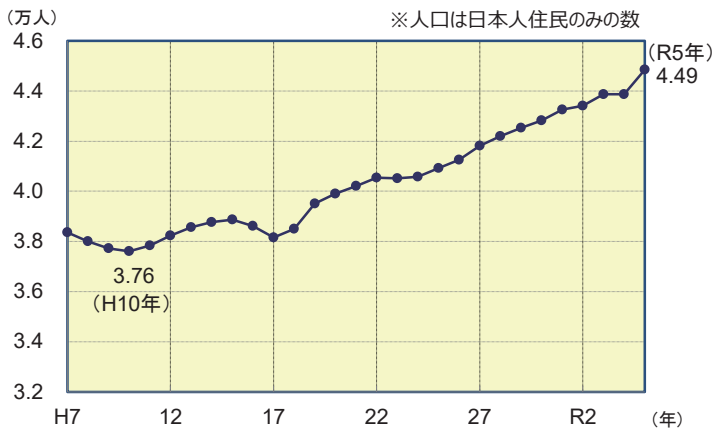
また、高田は、現在でも、手描き友禅など江戸の伝統工芸が受け継がれているまちでもあります。



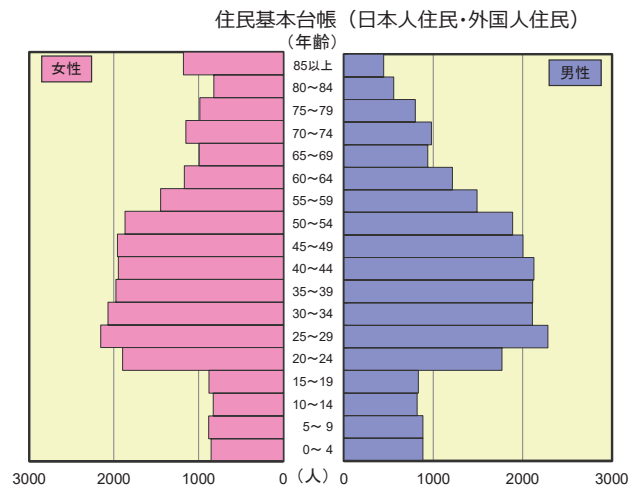
1	面積	250.9 ha
2	人口	49,194 人
3	人口密度	196 人/ha
4	14歳以下の人口の割合	10.5 %
5	65歳以上の人口の割合	18.0 %
6	外国人人口の割合	8.8 %
7	一般世帯数	29,695 世帯
8	ファミリー世帯の割合	22.3 %
9	単独世帯の割合	62.3 %
10	建築物の耐火率	67.7 %
11	一人あたりの公園面積	0.85 m ²
12	緑被率	20.5 %

- [2~6] 住民基本台帳[日本人住民及び外国人住民] (令和5年1月)
- [7~9] 国勢調査 (令和2年)
- [10] 土地利用現況調査 (平成28年)
- [11] 公園・児童遊園現況一覧 (令和4年4月)
- [12] 住民基本台帳[日本人住民及び外国人住民] (令和4年4月)
- [12] 緑被現況調査 (令和元年)

人口の推移



人口の年齢構成 (令和5年1月)



地域区民ひろばの展開状況

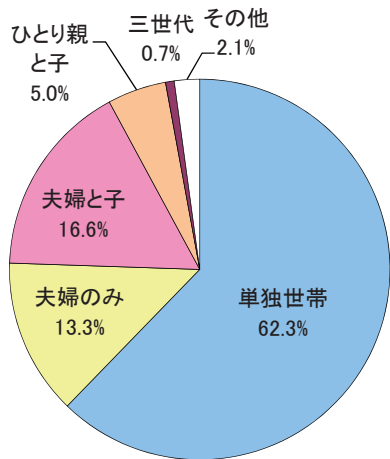


子どもスキップの展開状況



世帯の状況 (令和2年10月)

国勢調査

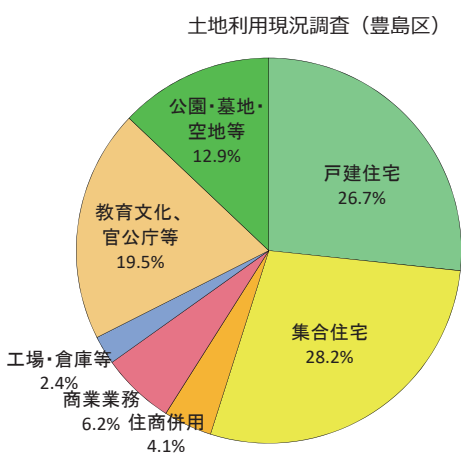


救援センターと対象区域



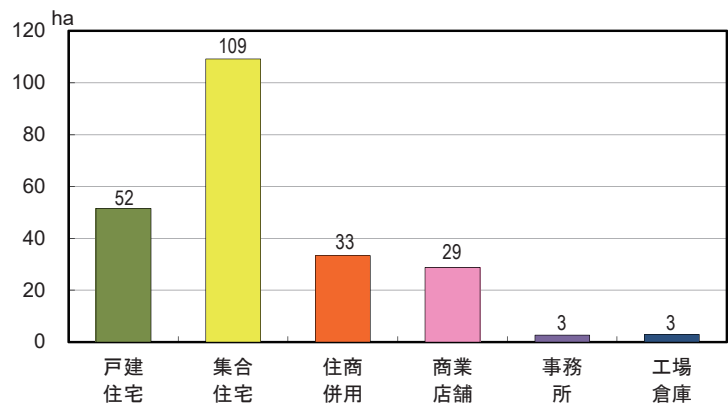
土地利用の状況 (平成28年)

土地利用現況調査 (豊島区)



用途別・建物床面積の状況 (令和元年)

用途別構造別土地利用データ (東京都主税局資料)



●南部地域

〔雑司が谷、高田、目白、南池袋(一部)、西池袋(一部)〕



第5章 公共施設のマネジメントの推進

- 5 区民ひろば高南第二複合施設【計画事業編 P.51】
- 13 南池袋小学校別棟【計画事業編 P.52】
- 14 高南小学校別棟【計画事業編 P.52】
- 19 南池袋小学校【計画事業編 P.53】
- 21 高南小学校【計画事業編 P.53】
- 30 高南保育園【計画事業編 P.54】
- 31 目白第一保育園【計画事業編 P.54】
- 43 千登世橋教育文化センター【計画事業編 P.56】
- 53 (仮称)雑司が谷三丁目広場【計画事業編 P.57】 ※各項目の内容は、第5章をご参照下さい。

第6章 政策分野別の事業計画 (基本計画の実施計画)

- 263 居住環境総合整備事業(雑司が谷・南池袋地区)
歴史と文化、みどりに包まれた閑静な環境を生かしながら災害に強い安全なまちづくりを目指します。
- 264 不燃化特区推進事業(雑司が谷・南池袋地区)
- 310 雑司が谷未来遺産推進事業
協議会からの提案に基づき、来街者と住民とが共生できる環境整備、誘導サインの整備を行ないます。
- 313 文化観光施設回遊促進事業
区役所本庁舎を起点に、区内に点在する魅力的な観光スポット及び文化施設を巡る「IKEBUS アトカルツアー」を土日中心に運行します。

